

第2回社会保障審議会 人口構造の変化に関する特別部会	資料2
平成18年12月15日	

潜在出生率に基づく仮定人口試算のイメージ

潜在出生率に基づく仮定人口試算の基本的枠組み等

試算の位置づけ

本試算は、国民の希望が一定程度叶った場合を仮定した人口試算を示すことにより、人口構造の変化に関する諸問題及び諸施策に関する議論に資することを目的に、厚生労働省社会保障担当参事官室が試算を行うもの。

基本的枠組み

- 推計期間は2006～2055年(参考推計として2056～2105年)
- 男女年齢(各歳)別の総人口を推計(0～104歳、105歳以上一括)
- 平成17年国勢調査を基準人口とする。

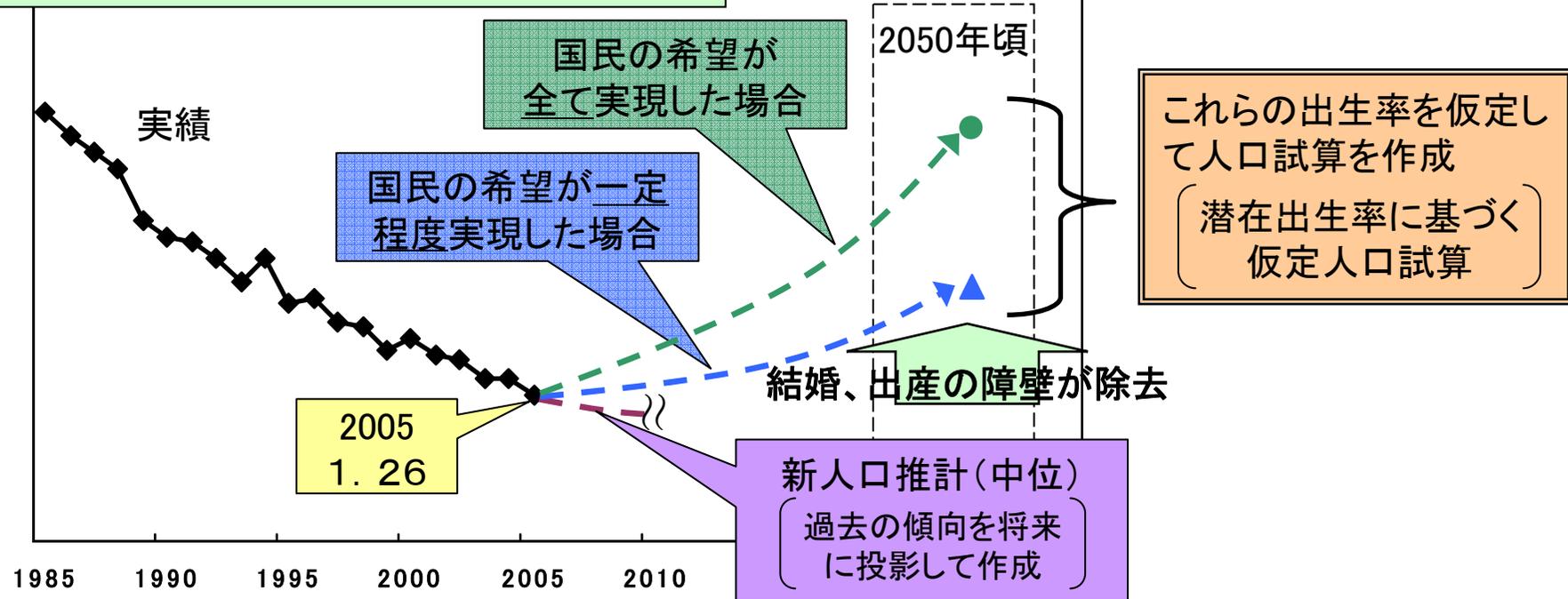
※ 基本的枠組みについては、新人口推計(社会保障人口問題研究所が年末に公表予定の新しい将来人口推計)と同じ。

仮 定 値

- 出生の仮定
 - ・出生率の仮定 … 国民の希望が実現した場合の出生率(潜在出生率)に基づき設定(複数の仮定設定)
 - ・男女出生性比 … 新人口推計(中位推計)の仮定値
- 死亡の仮定 … 新人口推計(中位推計)の仮定値
- 国際人口移動の仮定 … 新人口推計(中位推計)の仮定値

潜在出生率に基づく仮定人口試算のイメージ

合計特殊出生率の推移と見通しのイメージ



試算の前提について(論点)

- ① 国民の希望が全て実現した場合の出生率(潜在出生率)の水準はどの程度と考えるか
→ 統計調査から得られる国民の結婚や出生の希望について、現実的な希望を基準とするという観点で整理することとしてはどうか。
- ② いつ国民の希望が実現すると仮定するか
→ これから出生年齢に入る1990年生(新人口推計の参照コーホート)で実現するとしてはどうか。
- ③ 国民の希望が一定程度実現した場合とは、どの程度実現した場合か。
→ 新人口推計(中位)との乖離の1/3, 1/2, 2/3が埋まった場合を仮定してはどうか。

潜在出生率の水準について

(コーホート)合計特殊出生率の分解

合計特殊出生率 = (1 - 生涯未婚率) × 夫婦完結出生児数 × 離死別効果係数

平成14年中位推計 (1 - 16.8%) × 1.72人 × 0.971 ... 1.39 (1985年生)

新人口推計 (?) × ? × ? ... ? (1990年生)

潜在出生率 (①) × ② × ③ ... ?

※ 潜在出生率 : 国民の結婚、出産に関する希望が全て実現した場合の出生率

潜在出生率を分解した①～③をそれぞれどのように設定するか。

(①～③を国民の希望に基づき設定するが、この場合、過去の実態に照らしてみると
整合的となっていないこともあり得る。)

希望が全て実現した場合 (後記参照)
生涯未婚率(女性) 10%以下
夫婦完結出生児数 2.0以上

離死別効果係数を1.0とする考え方

潜在出生率 = (1 - 10%以下) × 2.0以上 × 1.0 ... 1.8以上

※ 離婚、死別を初めから望んでいる人はいないので、国民の希望を反映した数値は1.0であるという考え方

離婚、死別の効果を一定程度織り込む考え方

潜在出生率 = (1 - 10%以下) × 2.0以上 × 新人口推計の仮定 ... ?

※ 離婚、死別は一定程度避けられないものであるため、現実的な希望を表すため一定程度織り込み、新人口推計の仮定を用いるという考え方

結婚に関する国民の希望－（生涯未婚率）

生涯未婚率

平成14年中位推計の生涯未婚率 16.8% (1985年生、女性)

結婚意欲のある未婚者の割合

	男性	女性
18～34歳	87.0%	90.0%
18～19歳	88.4%	89.5%
20～24歳	87.7%	91.5%
25～29歳	88.0%	91.8%
30～34歳	83.7%	84.3%

注: 「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合
出典: 第13回出生動向基本調査(2005)

結婚経験のある者(既婚者)の割合

	男性		女性	
	有配偶	離死別	有配偶	離死別
18～34歳	27.2%	1.2%	36.0%	2.8%
18～19歳	0.8%	0.1%	1.6%	0.1%
20～24歳	6.2%	0.3%	10.4%	0.9%
25～29歳	27.4%	1.1%	38.2%	2.7%
30～34歳	50.6%	2.3%	62.7%	5.1%

注: 既婚者には事実婚を含む。
出典: 平成17年国勢調査結果

同世代人口の中の「既婚者及び結婚意欲のある未婚者」の割合(推定値)

	男性	女性
18～34歳	90.7	93.9
18～19歳	88.5	89.6
20～24歳	88.5	92.4
25～29歳	91.4	95.2
30～34歳	92.3	95.0

注1: 既婚者には事実婚を含む。
2: 離別、死別の者は既婚者に含む。

希望が全て実現した場合

生涯未婚率(女性) 10%以下

※ 1985年生世代(前回推計の参照コーホート)の希望に基づく10%以下

1990年生世代(新人口推計の参照コーホート)においても希望に基づく10%以下と考えて良いのではないか。

※ 過去の調査結果を見ても18～19歳の結婚意欲は低い、20歳台になると上昇する。

【参考】結婚に関する国民の希望－（生涯未婚率）

過去の調査結果をみると、18～19歳の結婚意欲はおおむね9割を下回っており低いが、20～24歳になると、既婚者が増加するとともに結婚意欲は上昇し、生涯の結婚の希望は9割を上回る結果となっている。

結婚意欲のある未婚者の割合

	男性					女性				
	1987	1992	1997	2002	2005	1987	1992	1997	2002	2005
18～34歳	91.8	90.0	85.9	87.0	87.0	92.9	90.2	89.1	88.3	90.0
18～19歳	90.0	87.5	85.5	88.4	88.4	93.5	88.8	87.6	85.8	89.5
20～24歳	92.6	90.9	86.7	88.3	87.7	95.1	92.0	90.7	90.9	91.5
25～29歳	93.9	92.0	87.1	86.3	88.0	91.8	89.9	87.1	87.7	91.8
30～34歳	86.9	87.0	80.9	83.8	83.7	75.6	83.8	88.7	85.1	84.3

注:「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合

出典:出生動向基本調査(第9～13回)

同世代人口の中の「既婚者及び結婚意欲のある未婚者」の割合(推定値)

	男性					女性				
	1987	1992	1997	2002	2005	1987	1992	1997	2002	2005
18～34歳	94.6	93.0	89.9	90.7	90.7	96.5	94.5	93.5	93.0	93.9
18～19歳	90.1	87.5	85.6	88.5	88.5	93.6	89.0	87.8	86.1	89.6
20～24歳	93.1	91.5	87.7	89.1	88.5	95.9	93.1	91.9	92.0	92.4
25～29歳	96.2	94.7	91.2	90.4	91.4	97.2	95.6	93.5	93.1	95.2
30～34歳	96.1	95.5	92.5	92.8	92.3	97.2	97.4	97.5	95.7	95.0

注:既婚者には事実婚を含む。

出典:出生動向基本調査(第9～13回)

子供数に関する国民の希望

子供数に関する希望

平成14年中位推計の夫婦完結出生児数 1.72人(1985年生)

結婚意欲のある未婚者の希望子供数

	男性	女性
18~34歳	2.07	2.10
18~19歳	2.15	2.23
20~24歳	2.11	2.18
25~29歳	2.05	2.03
30~34歳	2.01	1.84

出典: 第13回出生動向基本調査(2005)

夫婦の理想、予定子供数

	理想子供数	予定子供数
15~34歳	2.40	2.15
20~24歳	2.42	2.27
25~29歳	2.35	2.15
30~34歳	2.42	2.13

注: 初婚どうしの夫婦

出典: 第13回出生動向基本調査(2005)

- 若年世代(30歳未満)の子供数に関する希望は、
- ・未婚者の希望子供数
 - ・夫婦の理想子供数
 - ・夫婦の予定子供数
- のどれでみても2人以上。

希望が全て実現した場合

夫婦完結出生児数 2.0以上

※ 1985年生世代(前回推計の参照コーホート)の希望に基づくと2.0以上

1990年生世代(新人口推計の参照コーホート)においても希望に基づくと2.0以上と考えて良いのではないか。

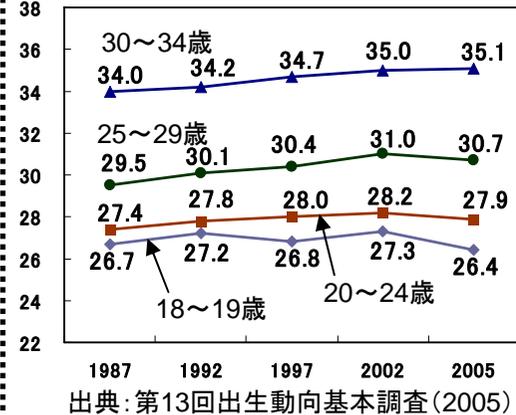
結婚に関する国民の希望 - (平均初婚年齢)

平均初婚年齢

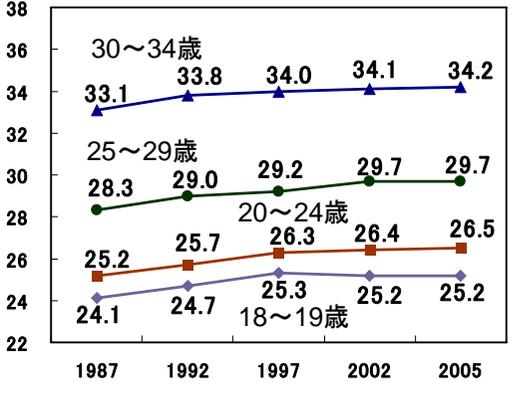
平成14年中位推計の平均初婚年齢 27.8歳(1985年生、女性)
 ※ 平成17年の平均初婚年齢(人口動態統計) 29.8歳(夫)、28.0歳(妻)

結婚意欲のある未婚者の希望結婚年齢

【男性】

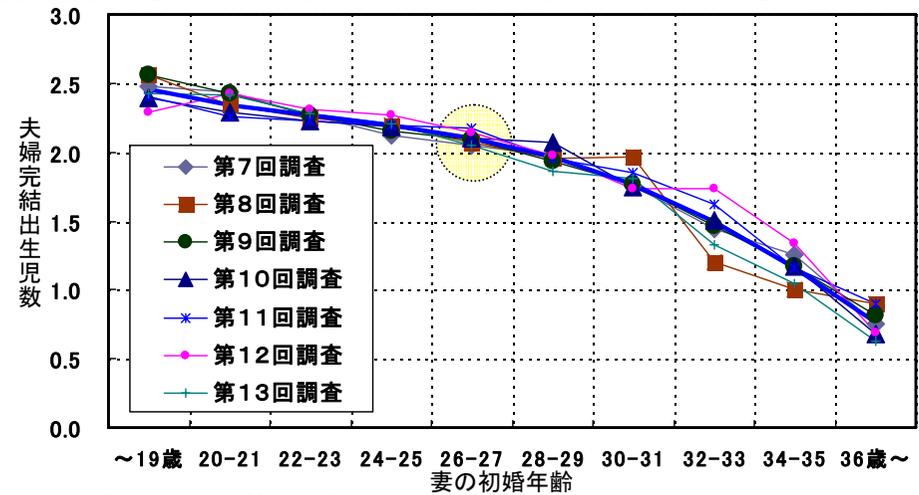


【女性】



・未婚者の年齢が上昇するに伴い、希望結婚年齢は上昇。
 ・未婚者が約9割を占める20歳代前半の未婚女性でみると、希望結婚年齢の平均は26.5歳であり中位推計の仮定(27.8歳)より低い。

【参考】 初婚年齢別にみた夫婦の子供数(夫婦完結出生児数)



20歳代前半の未婚者(女性)の希望結婚年齢(26.5歳)で結婚した夫婦の子供数の実績は、平均2人程度となっている。
 ※ 希望結婚年齢が高い人もいるため、必ずしも、結婚年齢の希望が叶えば、子ども数の平均が2人以上になるものではない。